

エゾフウロ	<i>Geranium yesoense</i> Franch. et Sav. var. <i>yesoense</i>	絶滅危惧Ⅱ類
		フウロソウ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎の高さ30-60cmの多年草。茎や葉柄に開出する粗毛があり、萼にも開出毛が多い。葉は掌状に5深裂し、裂片は3出状にさらに2-3回中裂する。花期は7-8月。花は紅紫色で、径約3cm。	
生態的特徴	亜高山帯から高山帯の日の当たる草地に生える。	
分布状況	北海道、本州(東北地方)、千島(シムシル島以南)に分布する。県内では県南の西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良